

熱気！100曲の競演

リオ文体連、カラオケ大会

【リオ支局】合計およそ100曲の競演が見られた第6回リオ・カラオケ大会は、当州日伯文化体育連盟（原林平理事長）主催で十月十六日午前十時から、ニテロイ市イカリイ区のサンビセンテ・デ・パウロ校の講堂兼体育館内で開催され、快晴の気温二十五度を肌で感じる文字通りの熱演の展開となった。

返送の際、編集局のミスで別の封筒に紛れ込んで送られてしまった。早速、Oさんから電話。「私、彼を気に入ってしまっただけ。彼の方も私の家に来たいと思っているみたい。なんとかしてくれない？」との話。

どうも、編集局を結婚相談所と勘違いされてしまったようだ。しかし、非は当方にあるし、それにOさんにはいつもお世話になっているし（本音は、コワイ）、月下氷人を務めるべく、阿部さんにお詫びとお願いの電話。さんざんOさんを誉めそやし、「つきましては……」とお願いと、快く許して下さいました。その後、結婚も終わり、無事婿入りしたとの知らせを頂きました。

母趾を手術して、足に優しくしているのとの事。女房殿の新婚時代の靴に占領されている靴箱を思い出して、「じゃあ、もうハイヒールは……」と伺ったら、「しつかり、置いてある」とのお話でした。

母趾を手術して、足に優しくしているのとの事。女房殿の新婚時代の靴に占領されている靴箱を思い出して、「じゃあ、もうハイヒールは……」と伺ったら、「しつかり、置いてある」とのお話でした。

編集後記

■ポツカリ空いた時間、久しぶりに映画を見に行った。脳裏によぎる原稿締切と編集長の顔を振り払い、目指すは『依頼人』。周りはアベックばかり。最後列の雑壇の席からはベタベタ具合が一目瞭然。画面をちゃんと見なさい！いちやつくな若者よ！

ひがんで帰って来たら、怖い催促の電話が入っていました。（酒呑童女）

室戸岬

土佐弁で語りあいましょ

三浦比彩子

（室戸市吉良川町出身）

〒107 東京都港区赤坂 2-13-23
トミヤビル4階
電03-3582-7773

年二回発行体制の堅持」を決議され、プレッシャーを懸けられてしまいました。結局、事務局長に、依頼原稿の手配、広告集め、ワープロ入力まで「おんぶにだっこ」して発行できました。引責辞任を免れがっかりしています。（藤）

前編集長の戸田氏はこの大会の審査委員長を務められ、弟子3人が入賞したとのこと。相変わらずですね。

山筆

第19号 / 1994・12

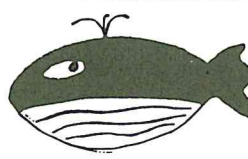
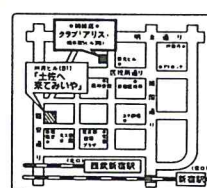
土佐中・高同窓会 関東支部会報

編集人/藤宗 俊一(42回)

〒106 東京都港区西麻布1-8-19-3F 六本木司法書士合同事務所気付 ☎03-3470-1055/FAX03-3470-1425



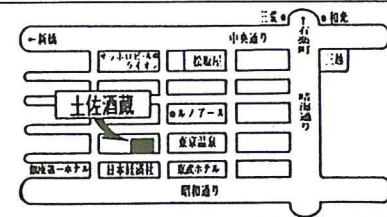
われらが母校・土佐高校



くじら刺 1000円
くじらたたき 2000円
かつおたたき 780円

新宿区歌舞伎町2-41-7 川井ビル
TEL 03(3209)0145
姉妹店「アリス」TEL 03(3200)1576

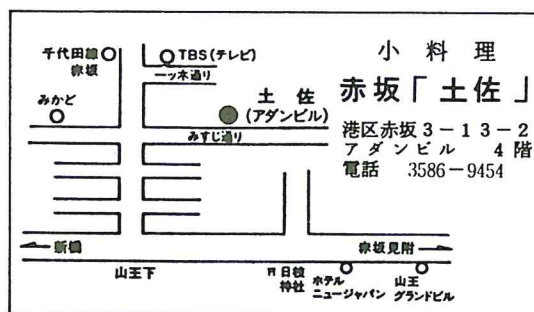
土佐へ来てみよう



季節のふるさとの味

土佐酒蔵

銀座 7-12-4 サンリード地階
電3545-3855 銀座第一ホテル通り



都会の中の小さな土佐

土佐料理 土佐酒蔵

〒104 東京都中央区銀座7-6-8(西五番街) ☎572-9640

- 赤坂店(赤坂みすじ通り) ☎3585-9640
- 新宿店(新宿住友三井ビル) ☎3344-6585
- 渋谷店(シオノギ渋谷ビル) ☎3407-9640
- 豊洲店(新豊洲ビル) ☎3348-2727
- 加賀店(新加賀三井ビル) ☎3345-0881

ある青春

直腸ガンの手術を受けた。今から半世紀前の六月十九日のことが思い出される。世界の二大海軍国の間に空前絶後の大海戦が行われた日のことである。

部内では「あ号作戦」といい、公表名では「マリアナ沖海戦」と呼ばれるものである。日本海軍をこぞる第一機動艦隊が編成され、加わる駆逐艦『霜月』の我ら乗組員も「こんどこそ」という勝ち戦さへの思いに胸が高鳴っていた。今にして思えば、勝てると思つて臨んだ日本海軍最後の海戦だった。

国が生き残れるかどうかを賭けたこの大海戦に加われることは、素直に嬉しかった。生への執着が、こんなにきれいにさっぱりと拭い去られた感じになったことは、後にも先にもこのときしかない。確かにそれは、思いを国の前途に馳せながら、今日の戦いに散る軍人の「さだめ」のあわれさを思わせる。

また、戦い敗れてこの方、そんなときの、そんな心意気は一顧だに与えられることがなかった。

35年ぶり

26回 安孫子 雅行

高知へのこだわり

この度、35年ぶりに高知に帰ってきました。社会人になってからなかなか郷里に帰る機会がなく、いつも一度帰りたいと思いながら果たせませんでした。「高知は変わったよ」との話は聞いていたが、自分の目で確かめる機会がありませんでした。35年ぶりに帰郷して真っ先に訪ねたのは母校でした。場所は在校した頃と同じ所でしたが、正門のつもりで入った所が裏門だったのには驚きました。立派になった校舎をみて関係者の方々のご努力を今更のように感じました。

市内見物をしました。はりまや橋の川がなくなっているのは聞いてはいましたが、知ってはいても淋しい思いは隠せません。市内には立派な建物が建ち並び、思ひ出のある場所を見つけるのに一苦労し

ました。しかし、高知城は以前のままでしたし、日曜日の朝市は昔より賑わってはいませんが、店の人達の会話は以前のとおりでした。市内の町の様子はすっかり変わっていましたが、高知のシンボルは変わっていないことに安心しました。特に、高知の人々の優しさ、素朴さは昔のままであったことに安心もし、うれしくも思いました。高知の人の人情がいつまでも変わらないうでいてくれることを念じながら高知を離れました。

鏡川

29回 増田 美洲子
私にとつてふる里高知で忘れ得ない場所は、一番に、市内を静かに美しく雄大に流れる鏡川です。私の家は鏡川の下流に近い宝永町だったの、子供の頃から鏡川は夢一杯の遊び場所でした。小学校一年生の頃は干潮になった川の洲におぼさん達と貝を掘りに行ったり、澄みきった水の浅い所で泳いだり、潜ったり。水中で目を開けて見ると、針うなぎや2センチ位の小さなえびが泳いでいたりして、子供の頃、それは本当に神秘の世界でした。冬には祖父が趣味

で網をやつていて、たまに暇が出来ると鏡川に『ぼら』を漁りに行こうかと言われ、一人っ子だった私は大喜びで行って行った事もありました。結果は一匹も漁れないで、橋の上の大勢の見物人の方に何か恥ずかしい思いをした記憶もあります。

その後、戦争疎開を経て小学校四年生で終戦となり、土佐中学に入学。夏休みを待ちかねて家が近所だった一年先輩の乾泰子さんと毎日鏡川に泳ぎに行きました。それはプールよりはるかに楽しい思い出です。鈴なりの様に鏡川べりの道は子ども達が集まり、私達はボートに乗ったり、競泳して鏡川を横断したり、潜っては深みの神秘的な川底の石を拾ったり。出かける時は母に「電気がつく前に帰る事」と厳しく言われても、あつと言う間に時間がたち、夕暮れもせまって電気のついた電信柱を見上げながら、口実を考えて二人でとぼとぼと帰るつくと厳しく叱られた事を思い出します。

に両親を葬りました。何十年振りかの鏡川はやはり私の鏡川で、美しく雄大でした。ふる程の愛をくれた両親も筆山からやすらかに鏡川を眺めているように思われます。『しゅうびん』で覚えていきます? (編集局)

なめたらあかん

32回 竹中 恵美子

高校一年の頃でしたが、市営球場の観客席の最上段に立ち、すぐ間近に迫る山々を見て「この行く手を阻む山の向こうに出て行かねばならぬ」と思ったものでした。もし、前方に開ける海が無ければ、土佐人は長野県人のようになっていたかもしれません。これは少し困った事です。風土と気質は大いに関係があることは周知の事です……

独断と偏見を許して頂けるなら、土佐人は農耕民族的土着性と海洋民族的可動性の二面を持っているため、どんなイゴツウも徹底したネクラではないように思われます。一方、南国土佐という割には底抜けに明るい人に出会ったためしがありません。同窓会なんかでも、もう少し虚心胆懐に行かないものだろうか

高知が一番

37回 橋田 正幸

母を亡くし、高知に帰る回数が減ったが、半世紀の人生の三分の一を過ごした高知に對する思い入れは何だろう。一番の原因は我が女房殿にあるのではないだろうか。やはり、高知県人同士となると会話はどうしても土佐弁となる。習慣の違いもそれ程なく、

勝手が分かるからか? 次なるは、学生時代を土佐寮で過ごし、学生時代の大半は土佐人との付き合いだったからかも知れない。

しかし、土佐高を37年に卒業して以来もう良い加減に東京人、都会人となつてはと思うのだが、どうしても高知の人と交わり、高知人に戻つて

湯が溜るのが分かった。外に出て浴槽を見ると、頭髮がごっそり浮いている。大変じゃ、こんなに毛が抜けたら俺の頭はつるつるになつていぞ。

大慌てで鏡を見た。安心した毛があつた。じゃあ、この毛はなんだ! 配水管に詰まっていた他人の頭髮が逆流してきたのだと気付いた。気持ちが悪いのと、腹が立った。心に受けた痛み。ホテルに

慰謝料を請求したいよ、全く。44回 永森 裕子

食健鑑

オムライスに凝っている。学生時代、吉祥寺の戦後闇市の面影が残る横丁の狭い階段を上がったレストランで、芸術的に薄く焼いた卵にくるまされたそれを食べて以来、病みつきになった。

外出時の一人での昼食、各駅停車汽車の旅狂いの亭主に連れられた旅先、一皿のオムライスと一本のビールは至福の時である。

●50回 杉本みどり
『筆山』十八号を讀んで前略 最新号の会報頂きました。編集の皆様も、お暑い中ご苦労様でございます。会費の納入が遅くなり申し訳ございません。

点の様なチームが、法政大、東海大、青学大というスター選手を揃えた関東の強豪校を連破し、あれよあれよという間に優勝してしまったのだから、宮地さんの喜び様も一とおりでなかった。快進撃に決勝戦の日はスケジュールが一杯。秘書に有められて、辛うじて執務室にとどまったものの、結局はほとんど仕事ならなかったらしい。翌日は優勝記事の載った新聞を全紙買い集め、ひとり感激に浸ったそうです。宮地先輩良かったですね。おめでとうございませう。

宮地さん おめでとう

なお、この夏の甲子園に出場し、四国一的好投手と言われた宿毛高校の藤村投手は、来春この東亜大学に進学するそうです。宮地さん、又来年も楽しみです。

皆さん、東亜大学って知ってますか? この秋『明治神宮野球大会』で、初出場、初優勝という快挙を成し遂げ、一躍その名を全国に轟かせた学校です。そして何と、その大学院の院長を務めるのが、我が関東支部の支部長、宮地貫一氏その人です。「東亜大学、ホワット? ホエア? ホワイ?」等と意地の悪い同窓生の疑いの目に晒されてきた氏にとつて、この秋の勝利の美酒は、さぞかしおいしかったことでしょう。

東亜大学は下関市に所在し、人文社会科学系、自然科学系の二学部に、平成五年からはデザイン学部を加え、大学院をも有する総合大学です。野球部はやっと創部四年目、甲子園経験者は控えに一人だけ、練習は市営球場が空いている時のみ。そんなアマチュア

の薄卵包。上からどろんとかかったケチャップ。これぞ正統派オムライス! 正統派は駅前食堂でしか生き残れないのだろうか。もう一つ、日本列島を北へ上がるほどオム食堂が少ないのは何故だろうか? (それとも、私の思い過ごし?) 求む! オム情報。オム同志。ともに戦わん!

●26回 山村泰造さん
病氣療養中のごとく平成6年8月20日ご逝去。享年62才

お悔やみ申し上げます

すきま風

●前号の巻頭を飾って下さった、阿部知曉さんのエッチング『ブルブル』くんの原画が、

坂本歯科医院 矯正歯科

坂本 隆

(42回生)

〒211 川崎市中原区小杉町3-441

(東横線武蔵小杉駅前)

(電) 044-7 1 1-8 1 4 8

て一流校の併願校だと思ってしまう。土佐が今後どのような道を辿るにしても、かつてのように伝統に頼って自由にしているだけでは、進学校の地位を保つのは難しいでしょう。

出版レーダー

●51回 坂東 眞砂子 著
『蛇鏡』直木賞候補作品。
マガジンハウス社一四〇〇円
『桃色浄土』

講談社 一九〇〇円

●40回 塩田 潮 著

『江田三郎 早すぎた改革』

文芸春秋 一九〇〇円

『大蔵省対アメリカ』

仕組まれた円ドル戦争』

講談社文庫 六四〇円

『安岡 正篤・昭和の教祖』

文春文庫 四五〇円

風のたより

●37回 橋田 正幸

ゴルフの成績が悪く悩んで
いましたが、最近、窪田氏の
いる大手町ビルでS-YAR
Dもどきのドライバーを購入
して、飛距離が出てスコアも
良くなり大満足。

中島・窪田の両君を助かし、

次回(11・25)の37/38対抗

ゴルフコンペが待ち遠しいと

ころです。

●39回 大和田 洋子

ある微の園
「へえー、俺こんなの弾いて
いたっけ」。すつとんきよう
な次男の声。見つけたたと内
心ニンマリ。「嘘だろう。手

の大きざぐらいしくないよ」
と、照れた様な彼の笑顔。家
の建て替えのため、荷物を整
理して十分の一のヴァイ
オリンが出てきたのです。

えくぼの引つ込んだ、不器

用な彼の手。肩当てでは痛い

ので肩座布縫って綿を入れ

ゴムでとめていましたっけ。

次から次からへ、四分の四ま

で都合五台並べて、来し方を

思い、感慨もひとしおでした。

その後、続けて欲しい親の

願いも空しく、長髪の中のロ

クンローラーに変身。エレキ

アコースティックとギターを

奏で、頭を振って一人で満悦

防音室が欲しいなどとぬかし

我が儘を言っています。

昨夜は木枯し一番が吹きま

した。もうすぐヘビメタの季

節。髪は短くしたけれど、我

が家の異端児の生き生きとし

た、忙しい冬が来ます。

●41回 岩村 康生

ハゲの愚痴

近頃、とみに頭髪が薄くな
って気になっていた。そんな
秋の日、出張で名古屋に二泊
した。ホテルは駅の裏側の全
国チェーンのビジネスホテル。
一日目はすぐに寝た。二日
目、シャワーで頭を洗った。
水はけが悪く足下にどんどん

しまう。

時々、歳のせいかなと思っ

が、やはり土佐人は気がおけ

ない。裏切らない。気が知

れている。安心出来る。馬鹿

話ができる。何といつても『

高知が一番』。『高知はいや

じゃ』という人の気が知れん

という特色はあろうが、

高知へ行ったら何よりも土佐

の人情味を味わって来てつか

あさい」と、県外の人に勧め

ている。

高知に帰って行く処

食べるもの

41回 鶴和 千秋

高知に帰って必ず食べに行
く処。それは帯屋町の裏通り
のラーメン屋『風珍』。東京
みたいな真つ黒いスープと違
うて、井の底まで透けて見え
る(何でも透けて見えるのは
イイコトナノダ!)塩味ラー
メン。薄味という言葉では言

力で一人三千円もあれば飲ん
で食べて十分。

この店、52回天造豊彦君
の弟さんの裕介さんと
め、お父さんがマ
スターで真心のこ
もったサービスが
有り難い。店の名
前は当然のことな
がらテンゾーをも
じったもの。ラン
チタイムサービス
もあって、帰省し
たら寄りたい店だ。
高知市帯屋町1-10-12
竹屋ビル3F TEL:71-6488

高知に帰ったら
寄りたいお店①



帯屋町アーケード
リロード
テンゾーネ
竹屋ビル3F
中央公園

帯屋町の玉井パチンコ店
の斜め前あたりの瀟洒なビル
の階段をトントンと上がって
三階に行くとテン
ゾーネがある。明
るい家庭的な雰
囲気のお店で西洋食
堂というのがびっ
たり。グループで
も家族でも気楽に
楽しめる。

メニューは昔懐
かしいオムライス
から本格的フラン
ス料理まで豊富。ビールのつ
まみには牛肉のたたきがおす
め。おいしくて安いのが魅

料理。
いこの
にはな
その県
ヨ。よ
寿司ゼ
のむし
寿司』
橋『菊
ら新京
冬場な
次に、

その県
ヨ。よ
寿司ゼ
のむし
寿司』
橋『菊
ら新京
冬場な
次に、

『あつまつすぐになつてる』
手術後、初めて自分の足を見
たとたん出た言葉がこれ。

まるで大男の靴のように、

でつかいギブスに固められた

足から指先だけが出ている。

チョココンと顔を見させている親

指はちよつと短く

なり、ブーと腫れ

ているが、なんと

も可愛い。嬉しく

なつて「ウーン」

と手を伸ばし、何

度も何度もなで

やり、思いきつて

手術をして良かつ

たと思つた。

これまで何度病

院を訪ねた事か。

しかし、その度に

「仕事があるから」

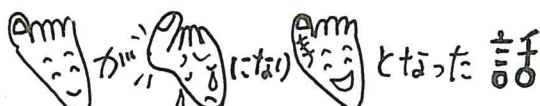
とか「子供達の世

話があるの」と

かで延びのびにな

つていた。

ところが昨年、事故で右足
首の靱帯が切れ、三カ月以上
もギブスで不自由な生活をし
なければならなかった。これ
で指の筋肉を使わなかつたせ
いか、ドドーツと外反母趾が
ひどくなった。そのことを知



つていた友人がK先生を紹介
してくれた。「善は急げ」だ。
K先生は外反母趾のことでは
テレビでも講演会でも有名だ
が、とても面白い先生だ。

診て頂くと「右足は手術、

左足は何とか保存療法で。入

院は一月」とのこと。「家

の事は大丈夫だから早く治し

てらっしゃい」という三人の

娘達は今や大学生と高校生。

主人も応援してくれた。絵

を教えている子供達には「

二カ月お休みします。ごめ

んなさい」と母親を通して

謝っておいた。用事もなん

とかやりくりをした。とに

かく「あーだ、こーだ」と

心配してもしようがない。

早く治して早く帰ろう。だ

いたいこんなになるまでお

いておいたのが悪い。若い

頃、足の幸せも考えず、キャ

リアウーマンよろしくハイヒ

ールでいたのを反省。

外反母趾は、足の親指が小

指の側にだんだん曲がつてき

て、とても痛いものだ。一日

中靴を履いている欧米ではポ

ピュラーな病気で、日本では

戦後生活様式が変わつてから

特にここ二十年ぐらいの間に急

外反母趾を手術して

33回 佐々木 泰子

激に発生数が増加している。
K先生だけでも約二千人の患
者を診てきている。
実際に入院して驚いた事に、
私なんか軽い方。もつと重症
の人が多く、同室の五人も皆
外反母趾。社長秘書、主婦、
看護婦、イラストレーター等
と職業も様々で、それぞれの
生活の中で、長い間悩んでき
た四十から六十代の婦人ば
かりだった。皆その苦勞が
分かつているだけに、励ま
し合つたり慰めたり。「車
椅子とられたら歩けない」
なんて言つてた人が、ギブ
スをはずしたとたんシャン
として「あんた達も頑張り
なさいよ。もうすぐよ」と
言い出すし、「写真を撮り
ますから」と呼ばれて、あ
わてて化粧して行つたら「
足の写真だった」と帰つて
くる人ありで、病院の中の人
間模様も面白かつた。

退院後七カ月。普通に歩い
ていることが有難い。不格好
な足の形は変わらないが、も
う格好良く見せようとしな
いで、足に一番良い靴を履こ
うと思う。大事な大事な足か
ら。『足よ、ありがとう』

るようになりました。

学生時代、落ち込んでいた

時など両親から届く果物、干

物、菓仙山本の栗羊羹などに

どんなに元氣付けられたかし

れません。春の文旦、初夏の

小夏、秋の新高、初冬の山北

みかん、お正月のポンカンな

ど高知の果物で季節の訪れを

改めて感じました。

そして今、娘は私の両親に

電話の度に「ちりめんじゃこ」

を送つてほしいと頼み、息子

は秋風が吹くようになると「

栗羊羹が食べたい」というよ

うになつてしまいました。

私が高知の食べ物に、今だ

にこだわる事ができるのも、

この20年間ずつと宅急便を送

り続けてくれる両親あつてこ

そと、今更ながら、感謝を新

たにしています。

土佐の岩村メ!

59回 関 謙

高知といえば『酒』であろ
う。よく鹿児島と勘違いして
焼酎の国だと思つている人も
いるようだが、全国的に高知
は『酒』、土佐人は『酒呑み』
とされている。

私の勤務先には北越製紙の
名のとおり新潟県出身者が多
く、ここもまたよく酒を呑む。

全員がサンズイの付く『酉』

年生まれといった所だ。新潟

と高知の共通点も多く、私は

よく『日本海側の高知県』な

どと言つたりする。米所に酒

所、魚介類も豊富で、かつ、

ともに紙所でもある。長岡に

赴任した頃は山並が高知

市内からの風景と良く似てお

り、信濃川を浦戸湾だと思っ

と、丁度東西がひっくりかえ

つた様に感じる程であつた。

ところで長岡人の高知への

こだわりは驚く程のもので、

私の赴任日にまず言い渡され

た事は「司馬遼太郎の『峠』

を読め」との事。幕末維新、

北越戦争で河井継之助率いる

長岡藩を破つた官軍の大將が

土佐の岩村精一郎であり、私

は敵の国の者ということらし

い。加えて岩村は当時24才の

若造で、入社間もない私と同

世代でもあり、このことを熱

っぽく語る人もいた。かとい

つて、困る様な事はなかつた

のですが、彼らが高知と聞い

てまず浮かぶものがそれなの

であらう。

明治維新を振り返るにあた
り、私達高知県人には坂本龍
馬を始め多くの英雄がいて土
佐を誇らしく思うのであるが、
所変われば、いやはやである。

関東支部だより

●学費納付金 10月15日、ホテルエース高輪で開催。出席者42名。決議事項次の通り。
一、平成七年新年総会は、従来通り1月14日(土)大手町サンケイホールで開催します。

尚、再来年以降は、正月にこだわらず、より多くの同窓及び学生が参加しやすい時期を再検討すべく、継続審議となりました。

一、関東支部名簿第二版を本年十二月に発行することにしました。本紙と共に発送予定です。

名簿の性格上できるだけ短期間での改訂が望ましいとの意見があり、以後三年毎の改訂版発行を目標とすることが決議された。

事務局よりお願い

名簿の短期改訂は素晴らしいことです。名簿作成担当チームの努力には敬意を表します。但し、特定個人の名刺広告による資金協力によらずに発行することに決議されましたので、費用は全て年会費により賄う事となりました。従って今後名簿を発行し続けて

いけるか否かは、会費納入状況にかかっております。同窓一人ひとりの皆様のご協力を呉々も宜しく願っています。

母校だより

学校長 森田 幸雄

嶺北早明浦ダムを突如として全国に発信せしめた猛暑の水の夏から、早くも二ヶ月が経過しました。

この間の学校行事としては、去る9月23日、恒例の中高合同大運動会が、生徒実行委員会の主管により、盛大且つ整然と実施されました。先輩、同窓生の方がたの熱烈なご声援に改めて御礼申し上げます。次に中学時代締め括りの行事である九州縦断の修学旅行が、10月22日から四泊五日の日程で恙なく催行されました。この学習効果が如何のように現れてまいるのか注目しています。

開校記念日に因む文化的行事として今回は音楽鑑賞を予定しています。ピアノの羽田健太郎氏によるとても楽しい音楽会になるものと思われま

す。

この他進学校として最大の課題である現役合格率の向上、それも志望校のワンランク・アップを目指す高三生の志望校検討会等々、真剣な最終取り組みが続きます。おつて本年度の入試センターテスト出席者数は二八三名(約92%)となつています。高三生諸君の今後の追い込みに期待をかけております。

最後に慶事のご報告ですが、本校職員で同窓会事務も担当しています千頭裕君(58回)が10月9日に、また同じく数学科教員、藤岡優太君(58回)が10月22日に、それぞれ華燭の典を挙げました。同期生、同職場、同時期という珍しい取り合わせとなり、学校は只今慶祝ムード一色といったところで学事報告を結ばせて頂きます。

本部だより

幹事長 岡内紀雄(34回)
一、平成六年度総会が盛大に開催されました。

平成6年8月6日(土)午後三時より、高知新阪急ホテルにおいて二五〇名余の参加を得て、総会、記念講演、懇親会が開催され盛会裡に終了

いたしました。

事業計画のうち、同窓会々員名簿の作成については、来年が五年毎の発行時期に当たるため、池上副会長を委員長とする名簿作成委員会を組織いたしました。前回同様、広告を募集し、平成七年七月の発行を予定しております。現住所等の確認・調査ならびに広告募集につき、会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

記念講演は、三回生の進藤貞和さん(三菱電機相談役)による「感謝の心」というテーマで、人間が人間に感謝することの大切さについて、進藤さんが歩んでこられた人生の様々な場面での、ご自身の体験にもとづいて語っていただきましたが、強い信念と人を引きつける力をお持ちの進藤さんの人柄が、にじみ出るように、進藤さんの偉大さに改めて感銘を受けました。

懇親会は、松浦前校長、森田現校長をはじめ多数の先生方も出席され、吹奏楽部OB会のスマートな司会進行のもと、スウ

イングジャズの流れる中、大変盛り上がりつつあるものとなりました。なお、会場で宿毛高校野球部(監督は55回生中谷真二さん)の甲子園出場に対する寄付を募り、十萬八千円を同校へ贈呈いたしました。

二、次年度総会の日程
平成七年度総会は、平成7年8月5日(土)三翠園ホテルにおいて開催されることに決まりました。多数のご参加をお待ちしています。

の「視点・論点」に出演された「球児と全力疾走」の題で全国の高校野球ファンに土佐高野球をアピールされました。

一方、八月から週一回の予定で高知新聞に「全力疾走30年」を連載されていますが、好評につき、既に単行本として出版されることが内定しているそうです。

籠尾先生の近況

今年四月母校の教頭に就任された籠尾良雄先生は情宣担当として校務に全力投球されるかわら、日本高野連から第一回アジアジュニア選手権大会(本年末・オーストラリア)出場中国・四国地区選手選考委員を委嘱され、忙しい毎日を送られています。また、先日はNHKテレビ

女中

足の裏から ⑤

38回 戸田 博之

駐在員として、発展途上国で生活する場合、まず間違いないで女中を使うことになる。

日本では女中が女中さんになり、最近はお手伝いさんになったが、女中はあくまで女中である。手伝うという行為は対等の人間関係が前提。いくらなり手が少ないからといって働いて頂いているという態度ではチト甘いのではないかな。

そんな背景があるので、言葉の問題を別にしても、リオに住む日本人の奥さん方の女中の使い方は下手である。なんとなく遠慮してしまうのである。こんな事までさせたら悪い、あんな事まで頼んだら申し訳ない。ついつい自分で働くのである。

その結果どうなるか。通いの女中が来る日は、言葉で緊張し、気を使ひすぎて、肩はコチンコチン。女中が帰るとドット疲れが出るという。何のための女中か。

十八年前のわが家も女中で

は少々苦労した。最初の女中は手癖が悪かった。わが家は女房殿の管理が行き届いているので、子供の服が一着見あたらなくなっても直ぐ分かる。女中に知らないかと聞く。無論知らないと答えるが、ある日ちゃんとタンスに戻っている。食事を作らせると、わが家の家族分プラスアルファを作り、その分をしつかりと且つこつそりと自分の家を持って帰るのである。

そこへいくと、ブラジル人の奥さん方はさすがに上手い。もともとポルトガル人は、ギリシャ・ローマの文化とイスラムの文化の両方を受け継いでいるので、家事は奴隷がやるものとの考え方が根っこにある。だから、どんな女中にやらせる。

女中は普通黒人である。日系人の女中はリオではまづいない。サンパウロの某商社の支店長の帰国送別会で聞いた話。この支店長が奥さんと二人で帰国準備の荷造りにせっせと励んでいたある日、隣に住むブラジル人の主人が来て、

「いいよ、ご帰国ですか。本当に名残り惜しいですね。ところで、お宅の日系人の女中は実に良く働くけど、かねがね感心していました。日本に連れて帰らないのであれば是非私どもに残してくれないでしょうか?」

こう言われた支店長、女中は黒人しか使っていないので隣人の勘違いだろうと一瞬思ったが、よくよく考えてハタと気が付いた。

「そうか!女房のことか」



リオの夕景色

同窓生のボランティアを募るとしても、常時数十人を確保しておかねばなりません。年間の会費納入が多くて三百万円という現実を振り返ると、このような話題を提供すること自体赤面する思いですし、足が竦んで一歩も前に進めそうにありません。

「同窓会には功成り名を遂げた仲間がいくらでもいるのだから、その方々に多額の寄付を仰ぎ、或は遊ばせているビルの一つや二つを提供して貰えばいいではないか。」というご意見をいただいたこともありました。同窓生の間を足で歩いて真剣に趣旨と目的を説明して回れば、或はそういう方と出会うことができるかもしれません。いやきつと快く申し出て下さる方は一人二人ではないだろうと思えます。その方が少しでも早く目的に近づくことができるし、母校を愛するお志を頂戴するので、決して間違った方法ではないでしょう。

しかし母校への熱いエールを込めた計画だからこそ、大勢の同窓生の想いが一杯詰まった、今はやりの言葉でいえば『草の根』を掘り起こした地道な努力の結集によってか

今年の夏の暑さは異常でした。いろんな気象条件が複合的に作用した結果だったのでしょうか、日本中の川という川、湖という湖が干上がったしまいに、突然故郷の早明浦ダムが観光名所になったりしました。もしかして永久に終わることがないのではないかと心配になるほど厳しく長い夏が続きました。

話は変わりますが、この秋広島で行われたアジア大会では、陸上の『馬軍団』水泳の『魚軍団』に代表される中国が、予想通りの強さを見せつけ、メダルを掻き集めるようにして大会を終えました。しかし私達がまだ子供だった頃アジア大会と言えば日本選手団の独壇場だったのです。種目によっては国内の二線級の代表を送り出し、それでも今の中国をはるかに凌ぐ成績を収めたものでした。

翻って我が母校を顧みますと、こちらも又「奢る平家は久しからず」の状況のように見受けられます。運動部の活躍に昔日の面影なく、進学成績は皆様が存知のように、学芸高校が中国とするならば、新興の土佐塾高校が韓国であり、我が土佐高校はアジア大

会での日本選手団の如くであります。「それ程の差はまだついでやあせん。」という向きもいらつしやるかと思えます。確かにまだそれ程の大きな差はついていません。しかし過去の実績の上に胡座をかき、時代を見据えた的確な対応と、継続的な努力を怠つていけば、いつの日か必ず周囲遅れの長距離ランナーになつてしまふでしょう。相手はいずれも

ではそんな氣息奄々の母校に対して我々卒業生はどんな手助けができるのでしょうか。同窓会はプレイヤーではありません。どんな時にも応援団という立場から踏み出してはいけません。実際に競技に参加する選手・役員は母校の後輩達であり、先生方であり、経営に当たる理事の方々なのです。

それでは我々はただ手を拱いて見守ることしかできないのでしょうか。声を限りの励まし、手のちぎれんばかりの拍手が、時として選手を奮い立たせ、予想をこえる成果をもたらすことがあります。我々にもそんな、母校の後輩達に勇気を与える何かができないものでしょうか。

かつて土佐高を卒業し、青雲の志と一抹の不安を抱えて上京した時、母校の先輩から

受けた手荒い歓迎と親身な心遣いは、三十数年たった今でも忘れられるものではありません。この関東に三千人もの我々同窓生にできること、それは後輩に対するこの気持ちを受け継ぎ、持ち続けることではないでしょうか。上京してきた後輩達が悩んだり迷ったりした時、何か情報が欲しい時、指導を仰ぎたい時、「とにかくここへ行けば何と

土佐中・高校同窓会関東支部

同窓会々館の夢

幹事長
32回生 溝渕 真清



かなる。」という場所を作つてやることではないでしょうか。これを仮に『土佐高校同窓会々館』とも呼びましよう。土佐高という絆を軸にして同窓生が親交を深めあう場所。いろんな情報交換を行える場所。時に母校を、そして恩師を偲んで盃を傾け合うことのできる場所。スポーツ・芸術・学問等あらゆる分野での同窓生の活躍や業績が一堂に展示される場所。同窓生の集うサロンは、同時にそこに一歩足を踏み入れただけで、土佐高卒業生であることの喜びと誇りを思い出させてくれる場所です。ななりません。そんな『土佐高のシンボル』のような会館を持つことができたらどんなに素晴らしいことでしょうか。

「学芸も土佐塾も最近しやう頑張つちゆうけん、やつぱり土佐高やねや。卒業生の量が違うぜよ、質が違うぜよ。パワーが違うぜよ。」という声が県下の、そして全国の

文武に秀でた子供たちを土佐中へ呼び、土佐高への夢を抱かせるのです。では実際に、この仮称『同窓会々館』をもつためには、どんなふうに進めて行けばよいのでしょうか。先ず計画に具体的なイメージを与えるために建築設計・法律・財務・税務・運営等々のエキスパートを集めたプロジェクトチームを結成しなければなりません。一種の設立準備委員会といった性格のものと思つていただければ結構です。人材豊富な我が関東支部を見渡せば、このメンバーに事欠く心配はありません。内閣の諮問委員会にも匹敵するほどの人材はすぐにも集まつてくれることではないでしょうか。

次は資金の問題です。先程の準備委員会で練り上げたプランに基づき、夢の詰まった会館を目前で建設するのが理想でしょう。となると億の単位も二桁の話になると思われます。購入するにしても同程度の資金は必要になります。テナントで入るにしても年間数百万、数千円の維持費は見ておかなばなりません。更に運営のための経費も必要になつてまいります。要員は

関西支部だより

事務局 竹原暢子(28回)

●平成6年7月『なんぶう』第12号発行。会員千二百名全員及び母校、同窓会本部、各支部に配布。

●平成七年度の新年パーティの日時と会場決定。

日時 1月28日(土)・pm6時
場所 大阪梅田ターミナルホテル

シニアクラブより

十年來続いている囲碁の会は最近参加者が増え、楽しく土佐弁が往復しています。最年長は七回生の公文公氏。十二回生の西山卓氏を師匠に、女性酒井芳美氏(28回生)を含めて十名程に。参加された方はいつでもどうぞ……。月一回土曜日(不特定)に事務局のサロンで行っています。世話人は13回生葛目尚宏氏。

東海支部だより

事務局 南 毅一(37回)

高知も暑かったが「名古屋も暑い！」が同窓生の合言葉。そんな9月3日(土)、夏期懇親会を開きました。総勢36名(内女性8名)が出席。だいたいいつものメンバーといったところで親しく打ち

解け合つてのワイワイガヤガヤ。普通の会合でなく母国語を十分に使えるうれしさから、時の過ぎゆくままでありました。途中前野球部監督の籠尾先生が講演したNHK教育テレビのビデオを流しましたが、静かだったのはその間10分位だけ。但し、校歌の四番の歌詞「それ右文と尚武こそ」より寮名がつけられたことが分り、何か偉くなった気分。だいいち校歌など四番まであることすらしなかったんですから……。又いつも二番目に歌う「孕湾頭、軒高く」が三番の歌詞であつたことも知りました。いずれにせよ平和な東海支部の夏でした。

広島支部だより

事務局 小島一洋(31回)

関東支部の同窓生の皆さんお変わりありませんか。アジア競技大会が滞りなく終了し、安堵感がみなぎっている広島からお便り致します。長い長い準備期間を要した広島アジア大会でありましたが、あつという間の15日間で幕を閉じました。広島支部の

同窓生でも多数の方が何らかの形で係わり合いがあつたことでしょう。特に、直接的、間接的なボランティア活動でアジアの各国の方々と交流し貴重な体験を積み重ねた方が多かつたと存じます。私事で恐縮ですが、開会式・閉会式で高知県と広島市間の異業種地域間融合活動でのアウトプットであるハトなどのエコロジ―紙風船を放天する準備業務を一部担当しました。

さて、広島支部では、9月3日に懇親パーティーを開き、八月六日の本部同窓会報告を交え、出席同窓生の近況報告などでお話し合つた。いひと時を共有しました。

また、来年度の新年総会・交流懇親会は、支部設立七年目を迎えます。広島支部ののささやかなお祝いの場と致したいと思ひますので、1月21日(土)午後4時からオープンニングで恒例の会場「広島ガーデンパレス」で開催する予定です。この機会に、広島にお越しになれる関東支部の同窓生の方がいらつしやいましたら、ご遠慮なくご参加頂ければ幸甚に存じます。それでは、関東支部の皆さん、お元気で……。

三菱電機株式会社

相談役

進藤 貞和

(3回生)

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

公立教育研究会



会長 公文 公 (7回生)

大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532
公文教育会館
電話 06-304-7611(代)
東京都千代田区五番町3番1号 〒102
五番町グランドビル
電話 03-3234-4651(代)

アポロン独和辞典 刊行

株式会社 同学社

取締役社長

近藤 久寿治

(6回生)

東京都文京区水道1-10-7
電話 (03)3816-7011(〒112)

壺坂電機株式会社

代表取締役 **壺坂 博文**
艶子(28回生)

〒192 東京都八王子市石川町1683-1
☎ (0426) 46-1127(代) FAX 46-1834

東京エアゾル化学株式会社

代表取締役社長
浅井 伴 泰 (30回生)

本 社 東京都豊島区南池袋1-25-9
今井ビル8階(〒171)
電話03-3984-1401 FAX 03-3984-1713
営業所 大阪／工場＝埼玉・岐阜

リクルート人材センター

相談役 **溝 渕 真 清** (32回生)
森 本 毅 次 (61回生)

労働大臣許可13コサツモ0001号
東京都港区西新橋1-10-2
リクルート西新橋ビル 〒105
電話 03-3592-5528
新宿／横浜／新橋
名古屋／梅田／京都
難波／神戸／福岡

株式会社日本テクナート (株)日本アステック

代表取締役 **小島 三 郎** (40回生)
取締役営業部長 **門 田 健 一** (43回生)
監 査 役 **小島 修 子** (43回生)
本部 〒168 杉並区和泉4-42-32
TEL 03(3313) 7 2 5 1 代表

有限会社 和 久 橋梁の計画・設計

小 松 三 男 (41回生)
〒236 横浜市金沢区釜利谷南2-24-4
TEL 045-782-1008
FAX 045-782-9145

圧縮空気除湿装置
吸着精製装置

AUTO-PUREX 丸谷化工機株式会社

代表取締役社長 **山 本 高 敬** (25回生)

〒100 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル



株式会社 **くもん出版**

國 澤 建 紀 (36回生)
中 城 正 堯 (30回生)

〒102 東京都千代田区富士見1-12-21 BR九段1
TEL (03) 3239-1427(直)
FAX (03) 3234-4018

ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社

ルイ・ヴィトン マルティエ事業部
クリスチャン・ラクロワ事業部
ヴーヴ・クリコ事業部
ロエベ・ジャパン株式会社

代表取締役社長 **秦 郷 次 郎**
(31回生)

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル
電 話 (3478) 3 6 9 4 番

メガネ、コンタクト、補聴器のことなら
何でもご相談下さい。
世界一のメガネ店と松下幸之助氏激賞！

全国65店舗 **富士メガネ** 大手町店

取 締 役 **窪 田 秀 忠**
東京営業本部長 (38回生)

千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
TEL 03-214-4751 日曜日(休み)



住まいの情報センター
ミツワ ホーム サービス

代表取締役 **中 屋 隆 彦** (41回生)

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-1 平沼ビル・幡ヶ谷北口駅前
TEL(03)3320-0320 FAX(03)3378-7097

思い出の先生方 ⑬

母・浜口未喜子

浜口 未喜子 先生(63才)

長女 阿部 知曉(51回生)

私の母、浜口未喜子は、私
が生まれる前から、土佐高校
で教鞭をとっていた。幼い頃、
朝になるとバスに乗って出勤
する母を見て、なぜいなくな
るのか理解できず、泣き叫ん
だ記憶が、今でも鮮明に残っ
ている。

今にして思えば、何と迷惑
な子供だったことだろう。現
在のように、女性が社会の第
一線に出て働くことは当たり
前という時代ではなく、「女
だてらに」という世間の少々
冷やかな視線、無理解のなか
で、懸命に頑張つて生きてい
る母親を、駄々をこねて困ら
せていたのだ。学校とはどう
いうところか、働くというこ
とがどういふことなのか、私
も年を重ねて社会に出て、当
時の母親と同じような年代に
なった今、その苦勞を実感し
ている今日この頃だ。

社会に出て働いてきた母で
はあるが、私にとっては、教
師としての彼女よりも、画家
である父(彼女にとっては夫)
の母としての母である。母は、
母といえど、私にとつての
母といえど、本である。いつ
もいつも、とにかく時間さえ
あれば、本を読んでいる。自
分の専門分野に限らず、エッ
セル、推理小説、ミステリー、
ルポルタージュから、難解な
純文学まで、興味を持ってはジ
ヤンルにこだわることなく、
手当たりしだいによんでいる。
その影響で、私も幼い頃から、
内外のさまざまな本を読む機

会に恵まれた。『今昔物語』
や『南総里見八犬伝』など日
本の不思議な物語、アフリカ
やアマゾンなどの話、さらには動
物の本などを読んで心をとき
めかせ、夢を育んだ。私がゴ
リラを描く画家になるルーッ
スは、母親から与えられたた
さんの本の中にあつたような
気がする。「本を読まない人
は馬鹿だ」そ



いつまでもお若い浜口先生の近影(職員室にて)

少々不真面目に揶揄して呼ぶ
のは、ただだけません。土佐
男のフェミニズムのなさは、
こんなところにも現れている
ではないでしょうか。
母は今でもすこぶる元気で
す。常日頃からセンスを磨い
ておかないと、きつとチヨ
クを投げられますよ。

三菱電機エンジニアリング株式会社

顧問 **森 健**
(23回生)

〒100 千代田区大手町2-6-2(日本ビル)
電話 03-3243-1781(代表)

財団法人 放送大学教育振興会

理事長 **宮 地 貫 一** (21回生)

東京都港区虎ノ門1丁目14-1
〒105 郵政互助会琴平ビル3階
電話 (03) 3502-2750(代表)